

維持管理時代に貢献し続ける

JERコンクリート補改修協会会長 佐藤 匡良



当協会では、硫酸等に起因する下水道関連のコンクリート構造物内面の腐食劣化対策として、耐用年数50年を誇るライフサイクルコスト型「ジックボード工法」をはじめ、耐硫酸性を有するモルタルライニング工法、各種塗布型ライニング工法に至るまで、協会認定工法としてラインナップの充実を図り、施設の劣化要因の診断から適材適所の防食仕様のご提案、当協会員による防食工事及び品質管理まで、下水道関連施設の長寿命化対策に取り組む専門技術者集団として活動しています。

また分科会として管路部会を設け、マンホールや管路・管渠の維持管理にも貢献すべく、活動も行っております。なかでも、管路部会では自立マンホール管更生工法の「ジックボードJ工法」をラインナップに加え、建設技術審査証明を取得しています。

新型コロナウイルスの影響は甚大なものですが、新工法・新製品のリリースやオンラインを活用した技術説明会等、今だからこそできることにも尽力してまいります。また新型コロナウイルス終息時には、協会としてスムーズに活動できる体制づくりを今から取り組んでまいり、今後も社会に貢献し続ける所存でございます。